

序文 ————— 4

まえがき ————— 12

第一章 ————— グルジェフとは？ ————— 17

ワークとグルジェフの探求と初期の準備とグルジェフの  
生地における秘教的色彩と宗教と永遠の知識の源泉を求めてと  
様々な職業遍歴、投機、政治活動とロシア時代と  
西欧でのグルジェフと晩年

第二章 ————— グルジェフ・システムの哲学的基盤 ————— 31

自己実現と人間の状態と創造の光と三の法則と七の法則と  
オクターヴの法則とエニアグラムと三の法則と七の法則の結合と  
第一の意識的ショックと第二の意識的ショック

第三章 ————— 普通人の心理学 ————— 71

人間の分裂状態と人間機械とわれわれの三種の脳と人間の三類型と  
意識の諸状態と通常の覚醒状態の心理学と  
通常の覚醒状態における体験の組系的歪曲と本質と人格

第四章 ————— 人間の可能性 ————— 113

内的生長の可能性と四つの道と高次の意識状態と客観意識と  
至高体験と人間の発達の諸段階と内的統一の達成と  
七つの段階と進化、死、不死性と四種の人体の発達

第五章 ————— グルジェフ・ワーク ————— 147

本質と人格の葛藤と開始と道への諸段階と  
グループの発見と第一の系列のワークと自己想起と第二の系列のワークと  
外的考慮と否定的感情を表現しないことと第三の系列のワークと  
無私的行為とムーヴメンツと生涯にわたる制約の循環を断つことと  
ワークにおける肉体労働の役割と経験にもとづくエクセサイズ

第六章 ————— 生きた伝統 ————— 207

グルジェフ・ファウンデーションとシャーボーンとクレイモントとタリエシンと  
チャーチ・オブ・ザ・アースとイースト・ヒル・ファームと  
A・I・C・E と宗教的發展のための学院と  
D・ハルトマン夫人のグループとその他のグループ

訳者あとがき ————— 238